平成 2 7 年 第 7 回 定例会
(第 2 日 目)

津 別 町 議 会 会 議 録

平成 27 年第 7 回 津別町議会定例会会議録

招集通知 平成 27 年 9 月 8 日

場 所 津別町議会議事堂

開会日時 平成 27 年 9 月 17 日 午前 10 時 00 分

閉会日時 平成 27 年 9 月 17 日 午後 1 時 22 分

議 長 鹿 中 順 一

副 議 長 篠 原 眞 稚 子

議員の応召、出席状況

議席 番号	氏 名	応 召 不応召	出席 状況	議席 番号	氏 名	応 召 不応召	出席 状況
1	佐 藤 久 哉	○	○	6	藤 原 英 男	○	○
2	白 馬 康 進	○	○	7	山 内 彬	○	○
3	村 田 政 義	○	○	8	谷 川 忠 雄	○	○
4	乃 村 吉 春	○	○	9	篠 原 眞 稚 子	○	○
5	茂 呂 竹 裕 子	○	○	10	鹿 中 順 一	○	○

地方自治法第 121 条第 1 項の規定により説明のため出席した者の職氏名

(イ) 執行機関の長等

職 名	氏 名	出 欠	職 名	氏 名	出 欠
町 長	佐藤 多一	○	監 査 委 員	藤村 勝	○
農業委員会委員長			選挙管理委員会委員長		
教育委員会委員長					

(ロ) 委任または嘱託

職 名	氏 名	出 欠	職 名	氏 名	出 欠
副 町 長	竹俣 信行	○	教 育 長	林 伸行	○
総 務 課 長	齊藤 昭一	○	生涯学習課長	小野寺祥裕	○
総 務 課 主 幹	小泉 政敏	○	生涯学習課主幹	藤原 勝美	○
住民企画課長	伊藤 泰広	○	学校給食センター主幹	佐藤 美則	○
住民企画課主幹	篠原 裕佳	○	農業委員会事務局長	横山 智	○
住民企画課主幹	森井 研児	○	選挙管理委員会局長	齊藤 昭一	○
保健福祉課長	石川 篤	○	選挙管理委員会次長	小泉 政敏	○
保健福祉課主幹	小野 淳子	×	監査委員事務局長	川口 昌志	○
産業振興課長	横山 智	○			
産業振興課参事	小南 雅誉	○			
産業振興課主幹	小野 敏明	×			
建設課長	松橋 正樹	○			
建設課主幹	金野 茂幸	○			
建設課主幹	竹内 秀行	○			
会計管理者	五十嵐 正美	○			
総務課庶務担当主査	近野 幸彦	○			
住民企画課財政担当主査	青柳 朋幸	○			

会議の事務に従事した者の職氏名

職 名	氏 名	出 欠	職 名	氏 名	出 欠
事 務 局 長	川口 昌志	○	事務局臨時職員	安瀬 貴子	○
事 務 局 主 査	山田 志津子	○			

会 議 に 付 し た 事 件

日程	区分	番号	件 名	顛 末
1			会議録署名議員の指名	2番 白馬 康進 3番 村田 政義
2			諸般の報告	
3	選挙	1	津別町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について	
4	同意	4	津別町教育委員会委員の任命について	
5	議案	61	津別町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	
6	〃	62	津別町国民健康保険税条例等の一部を改正する条例の制定について	
7	〃	63	津別町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	
8	〃	64	津別町青少年問題協議会条例の一部を改正する条例の制定について	
9	〃	65	津別町立老人憩の家条例の一部を改正する条例の制定について	
10	〃	66	津別町電子計算組織に係る個人情報の保護に関する条例を廃止する条例の制定について	
11	〃	67	契約の締結について（下水道管理センター電気計装設備改築更新工事）	
12	〃	68	契約の締結について（まちなか団地（Ⅲ工区）建設事業建築主体工事）	

日程	区分	番号	件名	顛末
13	議案	69	北海道市町村総合事務組合規約の変更について	
14	〃	70	北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について	
15	〃	71	北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について	
16	〃	72	財産の譲渡について（旧本岐小学校校舎棟）	
17	〃	73	財産の無償貸付について（旧本岐小学校校舎棟敷地）	
18	〃	74	平成 27 年度津別町一般会計補正予算（第 4 号）について	
19	〃	75	平成 27 年度津別町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）について	
20	〃	76	平成 27 年度津別町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 1 号）について	
21	〃	77	平成 27 年度津別町介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）について	
22	認定	1	平成 26 年度津別町一般会計決算の認定について	
23	〃	2	平成 26 年度津別町国民健康保険事業特別会計決算の認定について	
24	〃	3	平成 26 年度津別町後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	

日程	区分	番号	件名	顛末
25	認定	4	平成 26 年度津別町介護保険事業特別会計決算の認定について	
26	〃	5	平成 26 年度津別町下水道事業特別会計決算の認定について	
27	〃	6	平成 26 年度津別町簡易水道事業特別会計決算の認定について	
28	〃	7	平成 26 年度津別町上水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	
29	意見書案	10	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書について	
30	〃	11	介護報酬の再改定を求める意見書について	
31	報告	8	平成 26 年度財政健全化判断比率の報告について	
32	〃	9	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検評価の報告について	
33	〃	10	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	
34	〃	11	例月出納検査の報告について（平成 26 年度 5 月分、平成 27 年度 5 月分、6 月分、7 月分）	

(午前 10 時 00 分)

◎開議の宣告

○議長（鹿中順一君） おはようございます。ただいまの出席議員は全員であります。

これから本日の会議を開きます。

本日の会議に付する議案は、お手元に配付のとおりです。

◎会議録署名議員の指名

○議長（鹿中順一君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 125 条の規定により、議長において

2 番 白 馬 康 進 君 3 番 村 田 政 義 君

の両名を指名いたします。

◎諸般の報告

○議長（鹿中順一君） 日程第 2、諸般の報告を行います。

事務局長に報告させます。

○事務局長（川口昌志君） これから諸般の報告を申し上げます。

本日の会議に説明のため出席する者の職、氏名は、昨日配付しましたとおりであります。職務の都合により異動がある場合がありますことをご了承願います。

なお、本日、産業振興課主幹、保健福祉課主幹におかれましては、欠席するむねの報告を受けております。

本日の議事日程については、お手元に配付してあります日程表のとおりであります。

議会の動向につきましては、昨日報告後から本日までの状況について第 2 回報告書としてお手元に配付のとおりであります。

以上であります。

○議長（鹿中順一君） これで諸般の報告を終わります。

◎選挙第 1 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 3、選挙第 1 号 津別町選挙管理委員会委員及び補充

員の選挙についてを議題とします。

お諮りします。この件につきましては、あらかじめ議会運営委員会において協議することとしておりましたので、この際、議会運営委員会委員長の報告を受けたいと思います。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(鹿中順一君) 異議なしと認めます。

それでは、議会運営委員会の報告をお願いします。

2番、白馬康進君。

○2番(白馬康進君) [登壇] ただいま議長からお許しがございましたので、先に指示ありました選挙管理委員会委員及び補充員の選挙についての議会運営委員会における協議経過と、その結果についてご報告申し上げます。

最初に、この件に関する議会運営委員会の協議経過でございますが、9月11日、第9回議会運営委員会におきまして、選挙管理委員会事務局長の出席のもとで、現行の選挙管理委員会委員及び補充員の再任に向けての年齢的要件と、また再任や退任の意向などの説明を受けるとともに、各委員の意見を確認しながら協議を行ったところがあります。協議の中で現行4名の選挙管理委員会委員については、福井全雅氏が年齢的な要件で今任期満了をもって退任の意向であることから、補充員1位の才川正子氏を委員に、また現行の補充員のうち水上隆氏は、現在多くの各種委員や団体役員を務められており、負担軽減の観点で補充員から除くこととし、新たに2名の補充員について選考いたしました。

その結果、お手元に配付してあります選挙管理委員会委員及び補充員の資料のとおり、新たに補充員として中山孝一氏、後藤あけみ氏の2名について、人柄、識見ともにふさわしい方々として推薦することが適当であること。また、補充員の順位は年齢の観点から、それぞれの資料に記載の順位といたしましたのでご報告申し上げます。

あわせて、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙方法は、従来から地方自治法第118条第2項の規定による指名推薦の方法で行っておりますので、その方法によることとし、また指名する委員、補充員については、議長より直接指名する方法によっており

ますので、今回ご推薦申し上げた方々を議長から指名をいただくことをお願い申し上げます。

○議長（鹿中順一君）　ただいま議会運営委員会委員長より報告がありましたが、津別町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙の方法については、地方自治法第 118 条第 2 項の規定により指名推薦としたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君）　異議なしと認めます。

したがって、津別町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙の方法は、指名推薦によることに決定いたしました。

お諮りします。指名の方法は議長において指名することにしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君）　異議なしと認めます。

したがって、本件については議長において指名することに決定しました。

それでは、議会運営委員会委員長の報告にありましたように、津別町選挙管理委員会委員に久保利治さん、竹原洋子さん、野宮裕二さん、才川正子さん。津別町選挙管理委員会補充員に、中山孝一さん、細川隆さん、後藤あけみさん、新谷和典さん。以上の方々を指名します。

お諮りします。ただいま議長において指名しました方々を津別町選挙管理委員会委員及び補充員の当選者と決定し、補充員の順序は、ただいま申しあげました順位としたいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君）　異議なしと認めます。

したがって、選挙第 1 号は、ただいま指名した方々が津別町選挙管理委員会委員及び補充員に当選されました。

また、補充員の補充順序は、指名順と決定しました。

◎同意第4号

○議長（鹿中順一君） 日程第4、同意第4号 津別町教育員会委員の任命についてを議題とします。

提案理由の説明を求めます。

副町長。

○副町長（竹俣信行君） ただいま上程となりました同意第4号 津別町教育員会委員の任命につきましてご説明申し上げます。

現津別町教育員会委員、金田美喜恵氏は、本年9月30日をもって任期満了となるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、後任の選任をいたしたく、議会の同意を求めますのでございます。

候補者としましては、引き続き議案書に記載の津別町字活汲にお住まいの金田美喜恵氏が適任であると判断いたしましたので、議会の同意を願うところでございます。

なお、任期につきましては、平成27年10月1日から平成31年9月30日までの4年間となりますので、よろしく願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 本案について質疑を許します。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 質疑を終結します。

討論を省略し、これより同意第4号を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は、これに同意することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、同意第4号は同意することに決定しました。

◎議案第61号

○議長（鹿中順一君） 日程第5、議案第61号 津別町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定についてを議題とします。

内容の説明を求めます。

総務課長。

○総務課長（齊藤昭一君） ただいま上程となりました議案第 61 号 津別町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について内容のご説明をさせていただきます。

まず改正の概要についてであります。このたびの一部改正は、行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、いわゆる番号法の施行に伴う改正であるというものであります。

個人番号は、個人情報に該当しますので、個人情報保護条例の規定が適用されますが、番号法は個人情報をその内容に含む特定個人情報と情報提供等記録について、より厳格な保護措置を講ずることとしておりますので、当該部分に係る条例改正を行うものでございます。

説明資料 2 ページの新旧対照表をご覧くださいと思います。改正の主な内容を新旧対照表に基づき 7 つに分けてご説明させていただきたいと思います。まず、はじめに 3 ページをご覧ください。2 条についてであります。一つは番号法との整合性を図るために、第 2 条の定義の改正と追加を行うものでございます。第 1 号では、個人情報の定義について、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律と内容にずれが生じている部分をこの機会に改正するものでございます。続く第 2 号の保有個人情報については、条例全体にかかわるものでありますが追加するものでございます。この保有個人情報は、番号法との整合性を図るために、特定個人情報と保有特定個人情報を定義に追加するものでございます。また、行政機関、個人情報保護法に倣い、同法の規定に該当することとなり、かつ同法で保有個人情報と表記されている箇所について改正するものでございます。次の第 3 号に特定個人情報を追加します。これは、個人番号をその内容に含む個人情報であります。次に、第 4 号に情報提供等記録を追加します。これは情報提供ネットワークシステムによる情報提供等の記録のことです。第 5 号に保有特定個人情報を追加します。これは、実施機関が保有する特定個人情報のことでもあります。

次に、4 ページをお開きいただきたいと思います。第 9 条の 2 についてであります。二つ目の特徴でありますけれども、保有特定個人情報の利用の制限について規定するため、第 9 条の 2 を追加するものであります。内容といたしましては、番号法第 29 条で

は、特定個人情報を目的外利用することができる場合を限定していることから、番号法に準じ条文を加えたものでございます。

続きまして5ページをご覧ください。第9条3項についてであります。三つ目の特徴でもあります保有特定個人情報の提供の制限について規定するため、第9条の3を追加するものでございます。番号法では、特定個人情報を提供することができる場合を番号法第19条各号いずれかに該当する場合に限られていることから、各この条例においても同様に規定することとしたものでございます。

次に、6ページをご覧くださいと思います。第3章全体にかかわるものであります。番号法においては、特定個人情報について任意代理人についても開示、訂正、中止等の請求を認めているため、第3章第1節開示を請求する権利、7ページにございます第2節開示の決定等、9ページにございます第3節訂正請求等、そして11ページにございます第4節是正の申出等の各該当条項を改正するものでございます。

恐れ入りますが9ページのほうにお戻り願いたいと思います。第21条についてであります。特定個人情報の訂正等について規定するため、第21条に第2項を追加するものであります。

続きまして11ページをご覧くださいと思います。第23条の2についてであります。情報提供等記録について訂正があった場合、総務大臣及び情報紹介者又は情報提供者に通知することについて規定するため、この第23条の2を追加するものであります。

7ページにお戻りいただきたいと思いますが、その他の特徴でございますけれども、第16条にありますように開示請求等の決定日の日数について、行政機関個人情報保護法の規定に倣い改正したものでございます。これまで14日としていたものを、このたび30日という形に訂正をするものでございます。そのほか総体を通じまして、文言等の不備について訂正を加えたところでございます。

議案のほうにお戻りいただきたいと思いますが、議案では、ただいまご説明したものを条文化したものでございます。

最後になりますけれども附則についてであります。附則中、附則第1条第4号に掲げる規定の施行日の日から施行するとある部分につきましては、平成28年1月1日からというものであり、1号の番号法の施行日とある部分は、平成27年10月5日からと

なります。2号の番号法附則第1条第5号に掲げる規定の施行日とある部分については、国の連携が始まる平成29年1月1日からの施行となります。

よって、地方自治法第96条第1項の規定により議会の議決をお願いするものでございます。

以上説明を申し上げましたので、ご承認賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（鹿中順一君） 本案について質疑を許します。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 質疑を終結します。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 討論なしと認めます。

議案第61号を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第62号

○議長（鹿中順一君） 日程第6、議案第62号 津別町国民健康保険税条例等の一部を改正する条例の制定についてを議題とします。

内容の説明を求めます。

保健福祉課長。

○保健福祉課長（石川 篤君） ただいま上程となりました議案第62号 津別町国民健康保険税条例等の一部を改正する条例の制定について内容の説明を申し上げます。

今回の改正は、説明資料13ページの津別町国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてと、説明資料14ページの津別町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

の一部改正についてと、2本の条例改正を津別町国民健康保険税条例等の一部を改正する条例の制定についてという形で一部改正するものであります。

説明資料の13ページをお開きください。改正理由につきましては、平成27年3月31日付で総務省から出された地方自治法第245条の4の技術的な助言に基づき、住民税、固定資産税、軽自動車税の減免を申請する期限が変更されたことから、納税者の利便を図るため、国民健康保険税についても他税と合わせ、現行の「納期限前7日」から「納期限の前日」に改正するものであります。

下の新旧対照表をご覧ください。改正前につきましては、「納期限前7日」までに減免申請について減免を受けようとする者というところを「納期限の前日」までという形で改めようとするものでございます。このたびの改正が税等から遅れたことによる減免の適用に影響を受けた事例についてはございません。

説明資料の14ページをお開きください。改正理由につきましては、平成25年6月21日付、オ地政第1303号にて振興局により通知された、総務省より示された改正例に誤りがあり、平成25年法律第3号による地方税法の一部を改正する法律により、平成25年9月30日条例第36号、国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部改正により改正された「配当所得」を「利子所得、配当所得及び雑所得」に改める部分については、平成28年1月1日から施行すべきところを、平成29年1月1日となっており、平成27年4月23日付事務連絡にて総務省から訂正版が振興局より通知があり、国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部改正が必要であるということが判明したことから、今回改正するものであります。

新旧対照表をご覧ください。改正前につきましては、これは平成25年9月30日改正してございますが、この条例は平成29年1月1日から施行するとなっております。今回改正後におきまして、この後にただし書きで、「ただし、附則第14項の改定規定（「配当所得」を「利子所得、配当所得及び雑所得」に改める部分は、平成28年1月1日から施行する。」というふうに改めるものでございます。

それでは、議案に戻っていただきまして、ただいま説明した内容を改正文として整理したものでございます。附則といたしまして、この条例は公布の日から施行するものであります。

以上、内容の説明を申し上げましたので、原案にご承認いただきますようよろしく
お願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 本案について質疑を許します。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 質疑を終結します。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 討論なしと認めます。

議案第 62 号を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第 63 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 7、議案第 63 号 津別町介護保険条例の一部を改正する
条例の制定についてを議題とします。

内容の説明を求めます。

保健福祉課長。

○保健福祉課長（石川 篤君） ただいま上程となりました議案第 63 号 津別町介護
保険条例の一部を改正する条例の制定について内容の説明を申し上げます。

説明資料の 15 ページをお開きください。改正理由につきましては、平成 27 年 3 月
31 日付で総務省より、地方自治法第 245 条の 4（技術的な助言）に基づき、市町村条
例における減免申請期限の取り扱いについて通知があり、住民税、固定資産税、軽自
動車税の減免を申請する期限が変更されたことから、納付者の利便を図るため、介護
保険料における条例についても見直しを図るため、条例の一部改正を行うものでござ

います。

それでは、新旧対照表をご覧ください。第9条の2項です。普通徴収の方法による者につきましては、「納期限前7日」となっていたのを「納期限の前日」までに、その下のほうの特別徴収対象年金給付の「支払いに係る月の前前月の15日」までにつきましては、特別徴収対象年金給付の「支払日の前日」までに、というように改めるものでございます。

それでは、議案に戻っていただきまして、ただいま説明した内容を改正文として整理したものでございます。

附則といたしまして、この条例は公布の日から施行するとするものであります。

以上、説明申し上げましたので、原案にご承認いただきますようよろしくお願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 本案について質疑を許します。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 質疑を終結します。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 討論なしと認めます。

議案第63号を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第64号

○議長（鹿中順一君） 日程第8、議案第64号 津別町青少年問題協議会条例の一部を改正する条例の制定についてを議題とします。

内容の説明を求めます。

篠原住民企画課主幹。

○住民企画課主幹（篠原裕佳君） ただいま上程になりました議案第 64 号 津別町青少年問題協議会条例の一部を改正する条例の制定についての内容について説明させていただきます。

別途配付しております説明資料の 16 ページをご覧くださいと思います。津別町青少年問題協議会条例については、地方青少年問題協議会法の規定に基づき設置がされたものでありますが、条例の新旧対照表を基に説明させていただきますが、第 3 条第 1 項の組織についてですが、委員 10 人を 10 人以内とし、委員数の弾力化を図り、同条第 2 項の「議会議員 1 人」、「行政機関 3 人」、「学識経験者 6 人」を議員皆さんの負担軽減を図るという意図のもと、「行政機関及び学識経験者」とし、第 6 条の「年 2 回定例会議を開く」を削り、必要に応じておおむね年 1 回の開催を予定したいと考えておるところであります。

続いて議案の条文をご覧くださいと思います。改正条文につきましては、ただいま新旧対照表で説明した内容について条文化したものでありますので、条文の説明は省略させていただきます。

附則についてですが、平成 27 年 10 月 1 日の新しい任期から適用することとしたいと、改正したいと考えているところであります。

以上、改正内容の説明とさせていただきます。ご承認賜りますようよろしくお願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 本案について質疑を許します。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 質疑を終結します。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 討論なしと認めます。

議案第 64 号を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第 65 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 9、議案第 65 号 津別町立老人憩いの家条例の一部を改正する条例の制定についてを議題とします。

内容の説明を求めます。

篠原住民企画課主幹。

○住民企画課主幹（篠原裕佳君） ただいま上程になりました議案第 65 号 津別町立老人憩いの家条例の一部を改正する条例の制定についての内容について説明させていただきます。

別途配付しております説明資料の 17 ページをご覧ください。津別町立憩いの家条例には、10 カ所の憩いの家が設置されていますが、旧網走信用金庫店舗の改修に伴い、友楽園の所在地を「新町 1 番地」から「東 4 条 30 番地」に改正するものであります。

条例の新旧対照表を基に説明させていただきますが、第 2 条の憩いの家の名称及び位置についてですが、友楽園の名称はそのまま、位置を「東 4 条 30 番地」に改正するものであります。

続いて、議案の条文をご覧ください。改正の条文につきましては、新旧対照表で説明した内容について条文にしたものでありますので、条文の説明は省略させていただきます。

附則についてですが、改修工事は 11 月中に検査、受け渡しの予定でありますので、平成 27 年 12 月 1 日から施行したいと考えているところであります。

以上、改正内容の説明とさせていただきます。ご承認賜りますようお願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 本案について質疑を許します。

(「なし」の声あり)

○議長(鹿中順一君) 質疑を終結します。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(鹿中順一君) 討論なしと認めます。

議案第 65 号を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長(鹿中順一君) 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第 66 号

○議長(鹿中順一君) 日程第 10、議案第 66 号 津別町電子計算組織に係る個人情報の保護に関する条例を廃止する条例の制定についてを議題とします。

内容の説明を求めます。

総務課長。

○総務課長(齊藤昭一君) ただいま上程となりました議案第 66 号 津別町電子計算組織に係る個人情報の保護に関する条例を廃止する条例の制定について内容のご説明をさせていただきます。

本条例は、昭和 64 年に施行され平成 14 年に一度改正しているものでありますが、電子計算機によります事務処理が開始された当時において、個人情報を保護する関係から規定を定めたものでございますが、今日的には津別町情報保護条例でその内容が包含されているということから、議案の条文のほうに記載されてありますように、本条例を廃止するものでございます。

附則といたしましては、この条例は公布の日から施行するというものでございます。

よって、地方自治法第 96 条第 1 項の規定により、議会の議決をお願いするものでご

ざいます。

以上、ご説明申し上げましたので、ご承認賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

○議長（鹿中順一君） 本案について質疑を許します。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 質疑を終結します。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 討論なしと認めます。

議案第 66 号を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議案 67 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 11、議案第 67 号 契約の締結について（下水道管理センター電気計装設備改築更新工事）を議題とします。

内容の説明を求めます。

竹内建設課主幹。

○建設課主幹（竹内秀行君） ただいま上程となりました議案第 67 号 契約の締結についてご説明申し上げます。

下水道管理センター電気計装設備改築更新工事の請負契約について、予定価格が 5,000 万円を超えていることにより、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第 2 条の規定に基づき議会の議決を求めるものでございます。

工事の名称は、下水道管理センター電気計装設備改築更新工事。工事の場所、津別町字達美 186 番地。契約の方法、指名競争入札。契約の金額、3,291 万 8,400 円、うち

消費税及び地方消費税額 243 万 8,400 円でございます。契約の相手方、札幌市中央区大通東 7 丁目 1 番 118、北海道富士電機株式会社 取締役社長 大貝新一でございます。

資料 18 ページに、工事概要を記載してございます。入札日は平成 27 年 9 月の 7 日でございます。工期は、契約の日から平成 28 年 3 月 18 日でございます。工事概要ですが、監視制御設備として LCD 監視装置一式、管理本館シーケンサ盤 1 面。LCD というのは液晶ということで、液晶モニター付監視制御装置となります。シーケンサ盤を制御する役割をします。管理本館シーケンサ盤は、管理装置の指令に基づき管理棟に設置された各機器の運転管理を行うものでございます。制御電源及び計装用電源設備として自家発電機始動用蓄電池一式、これは発電機を始動させるバッテリーでございます。計測設備として凝集剤貯槽液位計 2 基更新いたします。これは、汚泥に投入する凝集剤の量を図るための計測機器でございます。

以上、ご説明申し上げましたので、ご承認くださるようお願いしたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 本案について質疑を許します。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 7 番、山内彬君。

○7 番（山内 彬君） 何点かお伺いをしたいと思います。

資料で結果一覧表をいただいておりますけれども落札率が 46.55 と、それと指名業者 2 社が辞退をしていると、そういう結果の資料をいただいております。

まず、1 点は 50%を切った落札率ですけども、この積算に当たっては、恐らく専門の所に依頼して積算したと思われませんが、このように 50%を切って落札したと。積算と契約額は相当違いますけども、そのことについて積算の経過をお伺いしたいと思います。

それから、入札指名業者を選考委員会で多分選考されておられると思いますが、なぜ 2 社が辞退されたのか、もしわかればお伺いをしたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 竹内建設課主幹。

○建設課主幹（竹内秀行君） まず、1 点目の低入札、50%を切るというような入札に至った経緯についてご説明したいと思います。

当契約につきましては、機器費というものが大半を占める内容になっております。

この機器費につきましては、設計単価を議員おっしゃる様に専門のところに委託して積算しております。これは、建設物価版や積算資料等全国的に価格を調査して公表しておる経済調査会に委託しております。

その報告をもって今回設計単価としておりますので、これは町独自で見積もりを徴しまして単価を設定するよりも、的確な方法として北海道の積算方法に倣ったものでございます。会計検査対応としても適正な単価と判断しておりますので、ご理解いただきたいと思っております。

低価格だったことにつきましては、この経済調査会に当落札者も見積もりを出しておるわけでございます。その出した金額と今回競争の結果、50%を切るような応札額を出したと。著しい金額の差異があったということでございますけれども、これは今申し上げましたが競争の結果ということでございますので、ご理解いただきたいというふうに思います。

それと、2点目の辞退の理由ということなのですが、これは入札日前に該当の2社から辞退の申し込みというか、辞退申し込みがありまして、原因につきましては自己都合ということで記載がございましたので、そのようなことでご理解いただきたいと思っております。

○議長（鹿中順一君） 7番、山内彬君。

○7番（山内 彬君） 通常であれば適正な積算がされているとするならば、この落札の46%というのは、通常であれば施工に支障がでるのが通常でないかなというように思われますけれども、町として契約するわけですから、工事、これ完全に施工ができるかどうかの心配は全然ないのかどうかお伺いしたいのと、この後、安く落札しておいて、また次の関連の事業があるのかどうか、お伺いをしたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 竹内建設課主幹。

○建設課主幹（竹内秀行君） 今議員ご懸念のされている部分につきましては、担当のほうも十分に危惧をしているところでございます。仮契約の際に、なぜこういうような低入札に至ったのかについて当該落札者に理由書の提出を求めています。その理由書によりますと、落札者は津別町に実績がないということで、北見に営業所があるのですけれども、津別エリアに実績を、新規参入を図るために実績をつくりたいとい

うことで、営業戦略的側面もあったというようなことで理由書のほうに記載がござい
ます。

仮契約するにあたり、当該の落札者のほうから価格調査の際の機器品質を落とすこ
となく納品をすることということと、それから下請け予定者へのしわ寄せを行わない
こと、それと設置後の不具合の場合、自社、他社製品にこだわらず対応することとい
うことで確認しておりまして、営業所が北見にあるものですから、北見にあって技術
者が常駐しているということで迅速な対応もできますということも含めて確認してお
ります。製品の納入につきましては、現場と十分協議の上、施工管理を強化いたしま
して万全を期していきますので、ご理解いただきたいというふうに思います。

それと、次年度以降のお話です。これは、下水道工事の機器更新につきましては、
いわゆる長計という部分で、平成30年ぐらいまで計画を持って順次機器更新してまい
ります。その中の機器一つ一つに更新という形が出てくるのですけれども、その更新
につきましては、毎回指名競争入札という形をとりますので、これがとったから継続
するというのではなくて、ただ、先ほど申し上げましたとおり、営業戦略的な側面
というのは、ただその後もあるものですから、頑張るとってくる部分は、もしかし
たらあるのかなというふうに考えております。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 7番、山内彬君。

○7番（山内 彬君） 入札する場合に最低制限価格というのを設けることもあるの
ですけれども、これだけ落札率が低いと、札をいただいたときに、相手から見積もり
を示めさせると、そういうことを今回なかったのかどうかお伺いしたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 竹内建設課主幹。

○建設課主幹（竹内秀行君） 当然ながら競争入札ですから、指名の部分には見積書
の提出を求めまして、それで各積算の比較等々をしております。ただ、今回の価格制
限というのは、最低制限価格を設けておりませんので、低入札ではあったのですけれ
ども落札になってしまったということでございます。

最低価格制限というのを設けなかった理由につきましては、通常工事等で低入札に
より期待した成果品が納入されない恐れがある場合には、最低制限価格を設けるので

すけれども、今回設計書や仕様書等により製品が担保されておりますので、最低制限を設ける必要がないと。それ以下の製品が入る恐れがないことから、最低価格を設けていなかったことについてご理解いただきたいというふうに思います。

○議長（鹿中順一君） ほかにありませんか。

8番、谷川忠雄君。

○8番（谷川忠雄君） 重複は避けまして1点だけ質問したいと思います。

確認というふうなことになると思いますけども、今回2社が辞退したいと。これは指名委員会の関係もあると思うのですが、今後の扱いとして、めったにないケースだと思いますけども、どのようなことになるのか再度また指名というふうな形で乗ってくるのか、その辺の関係について伺いたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 総務課主幹。

○総務課主幹（小泉政敏君） 契約のほうを担当しております私のほうからお答えしたいと思いますけども、辞退の2社については、次回以降も特にペナルティーなく委員会で指名されれば、それは指名することになるかと思えます。

○議長（鹿中順一君） 8番、谷川忠雄君。

○8番（谷川忠雄君） 説明はわかったような感じですが、これ町の扱いとして、言ってみればこういうふうな事例、2社もというのはめったにないと思うのですが、標準的な形として、それは当面指名しないだとか、その辺の扱いはっきりどうなるのか、あるのではないかなと思うのですが、また結局公告の指名委員会に任せるようなことなのかどうか、ちょっともう一回確認のために伺いたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 総務課長。

○総務課長（齊藤昭一君） ペナルティーというお言葉がありました。無断でもって入札に参加しないということであれば、これまでもそういったことはありました。そういった意味であらかじめ申し出があり一定の手続きを踏んでおります。しかしながら、指名競争入札には一定のルールがございますので、今後の扱いについては、ただいま谷川議員のほうからご指摘のあった分も持ち帰らせていただきまして、あり方についても検討させていただきたいと思えます。

○議長（鹿中順一君） ほかに。

(「なし」の声あり)

○議長(鹿中順一君) 質疑を終結いたします。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(鹿中順一君) 討論なしと認めます。

議案第 67 号を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長(鹿中順一君) 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第 68 号

○議長(鹿中順一君) 日程第 12、議案第 68 号 契約の締結について(まちなか団地(Ⅲ工区)建設事業建築主体工事)を議題とします。

内容の説明を求めます。

金野建設課主幹。

○建設課主幹(金野茂幸君) ただいま上程となりました議案第 68 号 契約の締結について内容のご説明を申し上げます。

本件につきましては、まちなか団地(Ⅲ工区)建設事業建築主体工事でございます。

8月31日、総務課管財グループにおいて指名競争入札を執行いたしましたので、その結果に基づく契約の締結について議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

工事の名称は、まちなか団地(Ⅲ工区)建設事業建築主体工事であります。工事の場所は、津別町字旭町56番地1でございます。工事の概要につきましては、お手元の説明資料で説明したいと思いますので、19ページをご覧いただきたいと思っております。

8月31日に入札を行っております。工期につきましては、契約の日から平成28年

3月25日までとしております。工事概要につきましては、構造として木造在来軸組工法平屋建でございます。1棟4戸、うち1LDK3戸、3LDK1戸で、建築面積350.89平方メートル、延床面積278.65平方メートル、1LDKの1戸専用面積は1LDK55.31平方メートル、3LDK79.11平方メートルでございます。

今回の発注につきましては、建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事で発注しており、建築主体工事が5,000万円を超える契約となることから、議会の議決をお願いするものであります。

建築主体工事の内容としまして、屋根、外壁はガルバリウム鋼板、防火サイディングボードを使用しております。内壁・天井はトドマツ合板、ビニルクロス、床はフローリングを使用しております。内装につきましては、流し台、吊戸棚、洗面化粧台、ユニットバスをみており、その他物置も計上しております。

電気設備工事は、照明器具でLEDを使用し、UHF、BSの共聴アンテナになっております。

機械設備工事では、電気温水器による給湯設備、灯油暖房、プロパンガスを採用しております。

20ページに図面を掲載しております。配置図になります。図面中ほどI棟1棟4戸を建設するもので上側が国道、来年度はJ棟が建設予定になります。

21ページは立面図になります。外壁はガルバリウム鋼板、防火サイディングで窓は複層ガラスを使用しております。

22ページ、平面図になります。玄関は断熱玄関ドア、玄関収納は備え付けでございます。

議案に戻っていただき、契約の方法につきましては、町内業者による指名競争入札を行っております。契約の金額につきましては5,875万2,000円で、うち消費税及び地方消費税額は435万2,000円であります。契約の相手方は、網走郡津別町字東2条23番地、津別建設株式会社 代表取締役 野口謙一と契約を締結しようとするものです。

以上、議案第68号の内容を説明申し上げましたので、ご承認賜りますようお願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 本案について質疑を許します。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 質疑を終結いたします。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 討論なしと認めます。

議案第 68 号を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第 69 号～議案第 71 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 13、議案第 69 号 北海道市町村総合事務組合規約の変更についてから、日程第 15、議案第 71 号 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更についてまでの 3 件を会議規則第 37 条の規定により一括議題にしたいと思えます。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

したがって、日程第 13、議案第 69 号 北海道市町村総合事務組合規約の変更についてから、日程第 15、議案第 71 号 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更についてまでの 3 件を一括議題とすることに決定しました。

議案第 69 号から順次説明を求めます。

総務課長。

○総務課長（齊藤昭一君） ただいま上程となりました議案第 69 号及び議案第 70 号

並び議案第 71 号について内容のご説明をさせていただきます。

はじめに議案第 69 号 北海道市町村総合事務組合規約の変更についてであります。

説明資料 23 ページの新旧対照表をご覧ください。本件につきましては、構成団体に 6 団体の脱退と、1 団体の加入に伴う規約、別表第 1 の変更並びに共同処理する第 1 項から第 7 項までの事務について 5 団体の脱退と 18 団体の加入及び共同処理する第 9 項の事務について 6 団体の脱退と 1 団体の加入に伴う同規約、別表 2 の変更を行うものでございます。

議案にお戻り願いたいと思います。議案では、ただいまご説明したものを条文化したものでございます。

附則といたしまして、施行日は総務大臣の許可の日からとし、ただし書きにおいて別表第 1、第 2 条関係及び別表第 2、第 3 条関係の一部につきましては、平成 28 年 4 月 1 日から施行するものとしてあります。

よって、地方自治法第 290 条の規定により、議会の議決をお願いするものでございます。

次に、議案第 70 号 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更についてご説明申し上げます。説明資料の 25 ページの新旧対照表をご覧ください。本件につきましては、構成団体について 6 団体の脱退と 1 団体の加入に伴い別表を変更するものであります。

議案にお戻りいただきたいと思います。議案ではただいまご説明したものを条文化したものでございます。

附則といたしまして 1、施行期日は総務大臣の許可の日から施行することとし、ただし書きにおいて別表の一部につきましては、平成 28 年 4 月 1 日から施行するとしております。また、附則の 2 で、規約の横書きの部分でございしますが、このたびの改正に合わせ横書きに改める際の漢字文字等の取り扱いを規定しているものであります。

よって、地方自治法第 290 条の規定により、議会の議決をお願いするものであります。

続きまして、議案第 71 号 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更についてご説明申し上げます。

説明資料の 26 ページの新旧対照表をご覧ください。本件につきましては、規約第 1

条の条文の整備及び構成団体について、6団体の脱退と1団体の加入に伴い別表第1を変更するものでございます。

議案にお戻りいただきたいと思えます。議案では、ただいまご説明したものを条文化したものでございます。

附則といたしまして、施行日は総務大臣の許可の日からとし、ただし書きにおいて、別表第1の改正規定中の一部につきましては、平成28年4月1日からの施行としているものでございます。

よって、地方自治法第290条の規定により議会の議決をお願いするものでございます。

以上、ご説明申し上げましたので、ご承認賜りますようよろしくお願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 本案について一括質疑を許します。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 質疑を終結します。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 討論なしと認めます。

はじめに議案第69号を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

続いて、議案第70号を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

続いて、議案第 71 号を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

以上の結果、議案第 69 号から議案第 71 号までの 3 件は原案のとおり可決されました。

暫時休憩をします。

休憩 午前 10 時 58 分

再開 午前 11 時 10 分

○議長（鹿中順一君） 休憩を閉じ再開します。

◎議案第 72 号・議案第 73 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 16、議案第 72 号 財産の譲渡について（旧本岐小学校校舎棟）及び日程第 17、議案第 73 号 財産の無償貸付について（旧本岐小学校校舎棟敷地）の 2 件を会議規則第 37 条の規定により一括議題にしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

したがって、日程第 16、議案第 72 号 財産の譲渡について（旧本岐小学校校舎棟）及び日程第 17、議案第 73 号 財産の無償貸付について（旧本岐小学校校舎棟敷地）の 2 件を一括議題とすることに決定しました。

議案第 72 号から順次説明を求めます。

総務課主幹。

○総務課主幹（小泉政敏君） ただいま上程となりました議案第 72 号及び議案第 73 号について内容の説明をさせていただきます。

はじめに議案第 72 号 財産の譲渡についてであります。本件は、平成 27 年 3 月 31 日をもって廃校し、8 月 7 日に普通財産へ移管となった旧本岐小学校校舎棟について、これまで跡地の活用を計画する事業者と協議してきた内容を踏まえ、本年 8 月 20 日に取り交わした旧本岐小学校活用に係る基本合意書に基づき、この施設において小規模多機能型居宅介護支援事業所サテライト事業を計画する事業者に財産を譲渡するものであり、地方自治法第 96 条第 1 項の規定により議会の議決を求めるものであります。

それでは、お配りしております説明資料の 28 ページをご覧ください。譲渡する財産は建物です。名称は、旧本岐小学校校舎棟。所在は、津別町字本岐 105 番地。構造は、木造一部鉄筋コンクリート造平屋建であります。床面積ですが、平面図に太線で区切っていますが、ここに防火扉があります。ここまでの校舎棟と 970.24 平方メートルであります。

議案にお戻りください。契約の方法は随意契約、譲渡金額は 400 万円で、うち消費税及び地方消費税額は 29 万 6,296 円です。

裏面をご覧ください。譲渡の相手先ですが、北見市青葉町 16 番地 23、株式会社エムリンクホールディングス 代表取締役社長 本見研介氏であります。

引き続きまして、議案第 73 号 財産の無償貸付について内容の説明を申し上げます。本件は、議案第 72 号 財産の譲渡についてでご説明しました旧本岐小学校校舎棟において、本年 8 月 20 日に取り交わした旧本岐小学校活用に係る基本合意書に基づき、小規模多機能型居宅介護支援事業所サテライト事業を計画する事業者に財産を無償で貸し付けるものであり、地方自治法第 96 条第 1 項の規定により議会の議決を求めるものであります。

説明資料の 29 ページをご覧ください。無償貸し付けする財産ですが、区分は土地であります。所在は、津別町字本岐 105 番地のうち、左側の図面の斜線部分、右側は同じ箇所の航空写真となりますが太線で囲った箇所になります。ここに、駐車場の舗装の端をグラウンドに向かって延長した部分までとなります。面積は、5,000 平方メートルであります。

議案にお戻りください。貸し付けの相手先ですが、北見市青葉町 16 番地 23、株式会社エムリンクホールディングス 代表取締役社長 本見研介氏であります。

裏面をご覧ください。無償貸付の目的ですが、旧本岐小学校校舎棟において、小規模多機能型居宅介護支援事業所サテライト事業を基本事業とした地域福祉に関連した附帯事業を実施するための整備を行うことについて、相手方に対し町有地を無償で貸し付けることにより、当該事業所の円滑な運営と地域福祉の向上を目的とするものであります。貸付期間は、旧本岐小学校校舎棟売買契約の日から平成 37 年 3 月 31 日までとし、財務規則で認められる最長の 10 年以内といたします。

なお、今後は、貸付期間満了ごとに更新の議決をお願いするものであります。

以上、内容についてご説明させていただきましたので、ご承認賜りますようよろしくお願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 本案について質疑を許します。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 質疑を終結します。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 討論なしと認めます。

はじめに議案第 72 号を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

続いて、議案第 73 号を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

以上の結果、議案第 72 号及び議案第 73 号の 2 件は、原案のとおり可決されました。

◎議案第 74 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 18、議案第 74 号 平成 27 年度津別町一般会計補正予算（第 4 号）についてを議題といたします。

内容の説明を求めます。

住民企画課長。

○住民企画課長（伊藤泰広君） それではただいま上程となりました議案第 74 号 平成 27 年度津別町一般会計補正予算（第 4 号）につきましてご説明いたします。

今回の補正につきましては、歳出において旧本岐小及び旧活汲小の跡地利用に関する経費の追加、それから小中学校の軒下物耐震工事の追加を中心に今後必要となってくる経費等を含めまして補正予算を組ませていただいております。

それでは、補正予算の条項をご覧ください。第 1 条第 1 項におきまして、歳入歳出予算にそれぞれ 1 億 84 万 6,000 円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を 49 億 10 万 2,000 円と規定するものであります。第 2 項及び第 2 条、第 3 条につきましては、資料の事項別明細書を説明後に内容を説明させていただきます。

事項別明細書につきまして、歳出から説明させていただきます。7 ページから 8 ページのほうをお開きください。款 2 総務費、項 1 総務管理費、目 1 一般管理費は、総務管理経費としまして、台湾二水郷への行政視察 3 名分として普通旅費 69 万 6,000 円の増額となります。また社会保障税番号制度、通称マイナンバー制度の導入につきまして、住民周知の徹底を図ることを目的に各世帯備え付け用のパンフレットを作成するというので印刷製本費 32 万 5,000 円の増額となります。電算化推進経費につきましても、マイナンバー制度のシステム整備に係る管理用パソコン 2 台の購入とセキュリティ対策費用として備品購入費 74 万 7,000 円、それから北海道自治体情報システム協議会へのマイナンバーに対するシステム整備費及びセキュリティ対策費用の負担金としまして 399 万 6,000 円の増額となります。また、総合行政ネットワーク経費

につきましても、これもマイナンバー制度導入に係りまして回線サービスの容量増加の経費としまして1万5,000円の増額になります。

目5財産管理費につきましては、庁舎維持管理経費としまして、議会議事堂正面玄関の階段の修繕費用83万2,000円の増額となります。

9ページから10ページをお開きください。町有建物等維持管理経費ですが、これは旧本岐小の雨水枡等の修繕、それから旧津別保育所のトイレ修繕として修繕料74万7,000円の増額、それから、役務費の運搬料につきましては、旧Aコープ共和店に置かれておりました3台の大型冷凍庫の搬出費用としまして24万3,000円の増額です。工事請負費は、旧活汲小学校の消防用設備であります屋内消火栓等の設置工事としまして362万2,000円の追加。また、負担金補助金及交付金における旧本岐小の体育館棟維持負担金については、旧本岐小の売買に係る体育館棟の売買しない部分について、町が管理していく部分を一部管理してもらうということによる負担金として18万3,000円の追加となります。これら町有建物等維持管理経費は、すべて普通財産の新規貸付及び売買に係る増額補正となっております。

項2地域振興費、目1企画総務費ですが、企画調整事務経費としまして、ふるさと納税に対するお礼品であります諸報償費567万6,000円の増額となります。これは当初予算で30件程度の寄附者として計上しておりましたが、行政報告にありましており6月にお礼品を見直したところ先週までに既に300件を超える寄附申出者があり、600件程度のふるさと納税者を想定して増額しております。

人づくり・まちづくり活動支援事業につきましては、当初220万円の予算を組んでおりましたが、既に10の団体や個人からの申請がありまして、一部流用で対応しておりましたが、不足額として200万円の増額をお願いするものです。なお、流用分につきましては、12ページの地域おこし協力隊事業における委託料で160万1,000円の増額をしております。合わせまして360万1,000円の補正となるところであります。

続きまして12ページのほうをお開きください。同じ地域おこし協力隊事業の費用弁償につきましては、先に相生で降りましたひょうによって隊員の車が3台損傷したことにより流用いたしました115万1,000円について流用元の費用弁償に増額するものであります。経費は保険対応となります。その点ご了承ください。普通旅費についま

しては、これは北海道の総合戦略事業といたしまして、地域おこし協力隊募合同フェアーを行いまして、それに参加する経費として9万5,000円の増額をするものです。

まちなか再生事業につきましては、筑波大学と津別高校との高大連携事業として行いましたワークショップの結果によりまして、当初1組というふうに考えていました筑波大学への学園祭での発表の派遣に、これを2組派遣することといたしましたので、高校生派遣費用の増分及び事業の成果発表、また次年度の打ち合わせ旅費等も含めまして、それらの費用を含め72万3,000円の増額をするものであります。

目2企画開発費につきましては、森の健康館管理業務といたしまして、給水ポンプ交換修繕等として修繕料252万4,000円。また、冷凍庫について、不調によりましてちょっと先に新規に購入したところによりまして、その分を備品購入費として24万3,000円の増額をお願いするものであります。

町民の森自然公園管理業務につきましては、公園内の木道等散策路の修繕費用として10万8,000円の増額をするものです。

目3企画振興費、地域振興施設管理業務につきましては、13ページから14ページのほうをお開きください。相生駅の宿の棧橋、それから相生道の駅のエアコン等の修繕費用として31万7,000円の増額をするものです。備品購入費につきましては、利用者の人数を確認するものが何もなかったということで、カウンターを購入しようとするもので6万2,000円の追加となっております。

項4戸籍住民登録費につきましては、これもマイナンバー関連経費としまして通知カード、個人番号カードの裏書用プリンターとして備品購入費91万6,000円、その保守業務として委託料8万3,000円の追加となっております。

款3民生費、項1社会福祉費、目1社会福祉総務費につきましては、障害者総合支援事業経費としまして、これは平成26年度の負担金の超過交付分を償還する費用としまして7万円の追加となっております。

介護保険事業特別会計繰出金は、事務費と町の任意事業に係る負担分として16万5,000円の増額となります。

目5老人福祉費は、介護サービス支援事業としまして15ページ、16ページになりますが、先ほど議決いただきました旧本岐小で介護サービス提供基盤等整備事業として

地域密着型サービスを行おうとしますエムリンクに対する交付金を補助金として 3,828 万 6,000 円を追加するものです。

市民後見推進事業につきましては、償還金利子及割引料で、これも平成 26 年度の事業に係る超過交付になった分の補助金の返還金として 36 万 6,000 円の追加となります。

目 8 後期高齢者医療費につきましては、後期高齢者医療事業特別会計繰出金の事務費分として 21 万 1,000 円の減額となります。

項 2 児童福祉、目 1 児童福祉総務費につきましては、これは子ども・子育て支援事業において、認定こども園と丸玉産業工場跡地との境に、これは危険防止と景観上の問題から木製の塀を設置するというもので 136 万 1,000 円の追加となります。塀ですが、恒久的なものではなく、丸玉産業のほうの公園が整備されたときに撤去するものであります。費用は折半ということで考えております。

次に、款 4 衛生費ですが、項 1 保健衛生費、目 2 予防費におきまして、健康増進事業につきまして特別会計の財源としたものがありまして、これは財源内訳のみの補正となっております。各種予防事務経費につきましては、健康管理システム導入に係る、これはデータを移す費用が別途生じまして予算計上なく流用したことから、流用元の北海道自治体情報システム協議会負担金に 54 万円の増額するものであります。

次に、款 6 農林業費ですが、これは 17 ページから 18 ページのほうをご覧ください。項 1 農業費、目 1 農業委員会費におきまして、農地法改正に伴う道の農業委員会会長会議、あるいは事務局会議が催されるということに対して、費用弁償と普通旅費、合わせて 21 万円の増額となります。

目 3 農業振興費は、その他農業振興対策経費といたしまして、北海道新規就農フェアの出席のための普通旅費 4 万 7,000 円の増額。環境保全型農業直接支払交付金事業につきましては、これは事業量の変更による精査でありまして、補助金として 151 万 8,000 円の増額となるところです。

項 2 林業費、目 2 林業振興費につきましては、木工工作展における賞状、盾数の枚数増ということで 9,000 円の増額です。

目 4 林業構造改善費につきましては、自然運動公園管理経費におきまして、スキー場及びレストハウス前の階段を昨年補修したのですが、冬期間に滑るような危険な状

態であるというのが見られたため、マットを新しく敷く修繕料としまして 25 万 1,000 円の増額となります。

次に、19 ページから 20 ページをお開きください。目 6 公有林費につきましては、これは補助事業等として歳入が見込まれることになったことから、財源内訳のみの補正となっております。

次に、款 7 商工費、項 1 商工費、目 3 観光費ですが、河岸公園管理経費としまして、公園内の木くずや鉄等の混在物等の廃棄物の処理手数料としまして 9 万 2,000 円の追加。峠展望施設管理経費につきましては、これも河岸公園における折れた枝等の処理に係る委託料と、それから峠の施設の給水パイプの修繕に係る修繕料について、これも流用で対応したため流用元の燃料に 58 万 6,000 円の増額補正をするものであります。観光イベント補助費等につきましては、観光協会事業費の補助金について、これは夏まつりに係る経費を先に増額補正いただいたところですが、警備の問題等で予定以上の経費がかかるという部分があったことから、さらに 44 万円の増額の補正をお願いするものであります。

次に、款 8 土木費、項 2 道路橋梁費、目 1 道路橋梁総務費におきましては、建設機械管理経費として 21 ページから 22 ページになりますが、建設機械の修繕料として昨年度の除雪に対し、特に過度の負担がかかったということで、修繕が増えたことから 273 万 6,000 円の増額とさせていただきます。

目 2 道路橋梁維持費につきましては、二又の町道 369 号線で大雨によりまして道路破壊等に対して資材として砂利を購入すると、そうやって対応したいということで原材料費 154 万 5,000 円の増額となります。

項 4 住宅費、目 1 住宅管理費につきましては、町営住宅管理経費において、旭町団地における冬期の屋根の積雪対策といたしまして、熱線付きの雨どい等を設置する改修工事 437 万円の追加となっております。なお、この額につきましては、先の両常任委員会で説明した額に産業福祉常任委員会でのご指摘を受けまして、熱線を付けるように設計変更をしましたことから若干の増額となっておりますことをご承知ください。

次に、款 9 消防費ですが、項 1 消防費、目 2 災害対策費の防災対策経費につきまして、防災行政無線の免許の更新費用をちょっと当初予算に見ていなかったことから、

手数料 11 万 5,000 円を追加するものです。

次に、款 10 教育費ですが、項 1 教育総務費、目 2 事務局費につきまして、教育委員会事務局経費として 23 ページから 24 ページをお開きください。補助金としまして、旧青葉幼稚園の解体費を全額補助するもので 702 万円の追加となります。

項 2 小学校費、目 1 学校管理費につきましては、小学校施設整備事業としまして、非構造部材、体育館のバスケットボールゴールや照明器具等の耐震化工事としまして 441 万 8,000 円の追加となります。これは、中学校でも同じ工事が行われますが、補助事業の最終年ということで、額の残に対する早期実施への勧奨等がありまして、補助残について優位な起債も見込まれるということから追加補正をお願いするものであります。

小学校施設管理経費につきましては、旧活汲小、旧本岐小学校における不用品等の整理費用を見るもので、需用費は燃料、需用費の燃料は、不用品運搬用の借上げ車両の燃料 3 万 8,000 円、役務費の手数料は産業廃棄物として処理する処分料 11 万 5,000 円とグランドピアノを運ぶ運搬の設置手数料 12 万 8,000 円、それから委託料として清掃等となっていますが、内容的には整理、運搬全体に人材活用センターにお願いすることから委託料 84 万 9,000 円。さらに運搬用車両を借り上げる借上料としまして 15 万 5,000 円。それから、25 ページから 26 ページになりますが、活汲小の物置の解体工事 177 万 2,000 円、それから閉校した活汲、本岐、相生小、3 校の遊具解体工事 31 万円、すべて合わせまして 336 万 7,000 円を追加するものであります。

項 2 教育振興費につきましては、財源内訳のみの補正となります。

項 3 中学校費につきましては、目 1 学校管理費におきまして、これも小学校と同様に非構造部材耐震化工事として 441 万 8,000 円の追加となります。

目 2 教育振興費につきましては、財源内訳のみの補正となっております。

項 4 社会教育費につきましては、目 2 社会教育振興費、少年期振興経費における、これは船橋市青少年交流におきまして、受け入れ家庭の送迎車両の窓が津別の子どもの投石によって割れてしまうことが起きまして、その修繕料について流用元の社会教育振興事業の手数料に 13 万 3,000 円を増額するものであります。なお、これも費用については保険対応となっているところであります。

目3 会館管理費につきましては、公民館管理経費におきまして、暖房用の配電盤修繕費用として37万8,000円の増額、それから27ページから28ページになりますが、燃料につきましては、先にペレットボイラーを修繕することになりまして、その流用元の燃料に19万円の増額となっているところです。

項5 保健体育費につきましては、目2 体育施設費の運動広場管理経費におきまして、運動広場野球場改修工事におきまして設計に若干の積算漏れの工種があったため59万4,000円の増額をお願いするものです。それから、屋内ゲートボール場管理経費は、女子トイレの洋式化の改修工事として49万8,000円の追加。修武館管理経費は、多目的運動公園の張替工事をやっておりますが、その芝の後利用としまして中庭の芝張り替えを行うもので、これは人活への委託料4万8,000円の追加となっております。

目4 学校給食費は、給食センターのトイレ一部を洋式化する工事で38万1,000円の追加となっております。

続きまして、歳入のご説明をします。3ページから4ページのほうをお開きください。歳入3ページです。款13 国庫支出金、項2 国庫補助金につきましては、目6 教育費国庫補助金としまして、特別支援教育就学奨励費14万2,000円の増額、小学校と中学校の非構造部材耐震化工事の財源であります学校施設環境改善交付金事業といたしまして294万4,000円の追加となります。

款14 道支出金につきましては、項2 道補助金におきまして目2 民生費道補助金の子育て支援対策事業は、補助対象でなかったため全額43万3,000円を減額しています。また、旧本岐小におきます地域密着型サービスを行う事業所エムリンクに対し、補助する介護サービス提供基盤等整備事業費交付金としまして3,828万6,000円の追加となるところです。

目4 農林業費道補助金につきましては、環境保全型農業直接支払交付金事業につきまして、これは事業費増による168万9,000円の増額、町有林におきます未利用地間伐材利用促進対策としまして、森林整備加速化・林業再生事業に254万8,000円の追加となるところであります。

款15 財産収入、項2 財産売払収入につきましては、町営住宅の窓枠、サッシ売り払いにかかる物品売払収入として6,000円の追加。

続きまして、款 17 繰入金、項 1 基金繰入金、目 1 基金繰入金につきましては、津別小学校の職員室移設工事が過疎対策事業債の対象となる見込みが立ったことから、財源としておりました公共施設等整備基金繰入金を 3,540 万円ほど減額とするところがあります。また、人づくり・まちづくり活動支援事業に対して充当する目的で、地域振興基金繰入金を 360 万 1,000 円の増額となるところです。

款 18 繰越金につきましては、今回の補正における一般財源分として前年度繰越金 4,021 万 4,000 円の増額補正となります。

款 19 諸収入ですが、項 4 受託事業収入、目 3 後期高齢者医療広域連合受託事業におきまして、受託事業収入は特別会計の財源とすべきということで 36 万円の減額となっております。

次に 5 ページから 6 ページをご覧ください。項 5 雑入です。目 5 過年度収入につきましては、これは平成 26 年度分の各負担金の精算追加交付で障害者自立支援給付費、障害者医療費、障害児入所給付等の国及び道の負担金、合わせて 383 万円の追加となります。

目 7 雑入につきましては、事故共済金としまして、先ほど歳出で説明いたしました地域おこし協力隊の車両破損及び船橋市の青少年交流事業に係ります車輛破損に係る事故共済金として 128 万 2,000 円の増額となっております。また、まちなか団地における融雪時に屋根からの雪で破損した手すり等の修繕費用にかかる建物共済金として 21 万 6,000 円の増額、また、廃油リサイクルと森づくりを結び付けるという目的で、産業廃棄物処理業者からの寄附を財源に北海道環境財団を通じて助成事業となっております森とアースへの E C O プロジェクト助成金を町有林の整備事業の財源として 40 万円の追加となっております。その他としまして、これは認定こども園の木柵、丸玉産業のほうからの負担分として 68 万 1,000 円の追加となっております。

款 20 町債、項 1 町債、目 5 教育債につきましては、小学校及び中学校の非構造部材耐震化事業の補助残に対する起債で 580 万円の追加ですが、これは全国防災事業債といたしまして東日本大震災関連の起債になりまして、元利償還金の 8 割が交付税措置されるものであります。また、津別小学校職員室等移設事業につきましては、先に説明したとおり過疎対策事業債のハード事業として充当できるめどから 3,540 万円の追加

としております。

それでは、改めて条文のほうをお開きください。ただいま事項別明細書で説明しました補正内容を第1表のとおり款項区分ごとに整理しまして第1項の補正額及び予算総額とするものであります。

第2条につきましては、債務負担行為の補正です。ページをめくりまして、第2表をご覧ください。津別町街路灯等LED化事業といたしまして、平成28年度から平成37年度までの10年間で費用を分割して支払うもので、限度額を1億4,607万4,000円として追加するものであります。

条文の第3条は、地方債補正で、先ほどの第2表の下、第3表をご覧ください。歳入で説明いたしました二つの事業に対する起債の追加で、利率、償還方法は表示のとおりです。合わせて4,120万円の増額、限度額総額を3億6,590万円と定めるものです。

以上、内容について説明いたしましたので、原案を承認いただきますようよろしくお願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 本案について質疑を許します。

ありませんか。

1番、佐藤久哉君。

○1番（佐藤久哉君） 歳出の10ページ、報償費でふるさと納税に関する567万6,000円が補正で組まれているのですけれども、ふるさと納税が大変伸びているということで、そのお礼の品をとということの補正でそれは了解したのですけれども、このお礼の品のことについてなのですが、現在31品目ぐらい確かお礼の品が用意されていると思いますが、それを決めた基準というのは何なのか、ちょっとお伺いしたいなというふうに思います。というのは、これは特産品中心に行われると思うのですけれども、やはりふるさと納税のお礼を受け取る方というのは、もちろん津別を存じ寄りの方もいるかもしれませんが、初めて津別町という名前を知ったような方もいるわけで、そうした人に対するファーストイメージというか、お礼の品が届いたときに津別町のイメージになるので、私はある程度の規定を設けて、それをクリアしたものを送るべきだなというふうに思うのですけれども、選考基準をどのようにしているのか、現在

の考え方を教えていただきたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 森井住民企画課主幹。

○住民企画課主幹（森井研児君） ただいま佐藤議員より質問いただきましたふるさと納税のお礼の品の選考基準についてお答えさせていただきたいと思います。

昨年度から今年度品目数を大幅に拡大して対応するという形にさせていただきましたけれども、一定のまず声掛けをさせていただきまして、対応できる、できないというようなお答えもあった中から、対応ができるものをラインナップに並べさせていただくという形で、現在 31 品目で対応をさせていただいているところです。議員のおっしゃったように一定の基準を設けたほうがいいのじゃないかという点につきましてなのですけれども、まずはラインナップを整えるということで選考させて進めさせていただいたところでありまして、今後品目の拡大も順次進めていきたいというところもありますし、納税の好調な状況を見て、我々の品もということで増えることも想定されますので、そこら辺のところを一定の基準を設けることも内部でも検討しながら、今後拡大と体制を整備していきたいというふうに考えていますので、よろしくお願いたします。

○議長（鹿中順一君） 1 番、佐藤久哉君。

○1 番（佐藤久哉君） 今の答えでほぼ納得したのですが、当時やはりふるさと納税のお礼の品として声掛けしたときに、お断りされたところの中からも、やはり体制が整ったとか、これだけ売れるのであればうちもやってみたいとか、そういうこともあるでしょうし、津別町のイメージアップのためにも、できるだけ、それから商工業者の売り上げ寄与というか、そういう部分もありますので、私自身はこれがあまりフィーバーすることは個人的には好んではないのですが、よそがやっていて津別町の PR にもなることですし、私は進めていくことには賛成なのですが、やはりそうしたところをきちっとしていくことが町民の皆さんに報告したときにも、津別町がちゃんとやっているなということを理解してもらえることになると思いますので、そのように進めていただきたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 森井住民企画課主幹。

○住民企画課主幹（森井研児君） 議員のご指摘、おっしゃっていただいたことを参

考に進めていきたいというふうに考えておりますけれども、まず津別町の特徴を出すというところとしましてお礼の品をお送りするときに、お礼状をただ単に紙で印刷するのではなくて、経木に印刷というか記したものをお返しするという形のことを、まず一定津別という特徴を出そうと思って実施しております。

それ以外の品目の拡大という点に関しましては、経済的な活性化であったりということにつなげることも含めまして、品目の拡大、ただそれだけじゃなくて、一定の基準といいたいでしょうか、そういったものもまた検討しながら、何と云うのでしょうかできるだけの拡大を進めるような体制を整えて準備していきたいというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（鹿中順一君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 質疑を終結いたします。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 討論なしと認めます。

議案第 74 号を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第 75 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 19、議案第 75 号 平成 27 年度津別町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）についてを議題といたします。

内容の説明を求めます。

保健福祉課長。

○保健福祉課長（石川 篤君） ただいま上程となりました議案第 75 号 平成 27 年度津別町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）についてご説明申し上げます。

条文の第 1 条といたしまして、歳入歳出予算の総額に 160 万 3,000 円を追加し、歳入歳出予算の総額を 10 億 184 万 7,000 円とするものです。

それでは、歳出のほうからご説明申し上げますので 5 ページ、6 ページをお開きください。款 11 諸支出金の目 3 償還金、療養給付費等償還金につきましては、平成 26 年度に収入した療養給付費交付金につきまして実績報告により 160 万 3,000 円超過交付になったことから、償還するものでございます。

続いて、歳入をご説明申し上げますので 3 ページ、4 ページをお開きください。款 8 繰入金、目 1 国保基金繰入金として 160 万 3,000 円の追加であります。これにつきましては、超過交付になったものにつきまして積み立てておりましたので、償還金の財源として取り崩すものであります。

それでは、第 1 表に戻っていただきまして、ただいま申し上げましたそれぞれの補正額を款項ごとに整理をさせていただきました。

以上、ご説明申し上げましたので、ご承認いただきますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（鹿中順一君） 本案について質疑を許します。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 質疑を終結いたします。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 討論なしと認めます。

議案第 75 号を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第 76 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 20、議案第 76 号 平成 27 年度津別町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 1 号）についてを議題とします。

内容の説明を求めます。

保健福祉課長。

○保健福祉課長（石川 篤君） ただいま上程となりました議案第 76 号 平成 27 年度津別町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 1 号）についてご説明申し上げます。

補正の理由につきましては、後期高齢者医療広域連合受託事業収入につきまして、従来一般会計の収入として取り扱っておりましたが、広域連合のほうから後期高齢者医療特別会計において収入することが適切と指導を受けましたので、予算の組み替えをするものです。

条文の第 1 条といたしまして、歳入歳出予算の総額にそれぞれ 14 万 9,000 円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 9,304 万 9,000 円とするものです。

それでは、歳出のほうからご説明申し上げますので 5 ページ、6 ページをお開きください。款 1 総務費につきまして、目 1 一般管理費において需用費 11 万 7,000 円、委託料で 3 万 2,000 円、合わせて 14 万 9,000 円を追加するものです。

続いて、歳入のご説明を申し上げます。3 ページ、4 ページをお開きください。款 2 繰入金、項 1 一般会計繰入金、目 1 事務費繰入金では 21 万 1,000 円を減額し、款 4 諸収入に項 4 受託事業収入、目 1 後期高齢者医療広域連合受託事業収入を新設し、36 万円を追加するものです。

それでは、第 1 表に戻っていただきまして、ただいま申し上げましたそれぞれ補正額を款項ごとに整理させていただいたものです。

以上、ご説明申し上げましたのでご承認いただきますようよろしくお願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 本案について質疑を許します。

(「なし」の声あり)

○議長(鹿中順一君) 質疑を終結いたします。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(鹿中順一君) 討論なしと認めます。

議案第76号を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長(鹿中順一君) 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第77号

○議長(鹿中順一君) 日程第21、議案第77号 平成27年度津別町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)についてを議題といたします。

内容の説明を求めます。

保健福祉課長。

○保健福祉課長(石川 篤君) ただいま上程となりました議案第77号 平成27年度津別町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について内容の説明を申し上げます。

補正の理由につきましては、歳出では前年度超過交付の国庫支出金等の償還金と追加交付の介護給付費準備基金積立金の追加補正が主なもので、それに伴う歳入補正であります。

第1条第1項といたしまして、歳入歳出予算の総額にそれぞれ504万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を5億3,279万6,000円とするものです。

それでは、歳出のほうからご説明申し上げますので5ページ、6ページをお開きください。款1総務費、項1総務管理費、目1一般管理費の総務一般事務費では、視察

研修のための旅費の補正と介護保険法改正に伴うシステム改修費の補正で、合計 24 万 7,000 円を増額補正するものであります。

次に、款 2 保険給付費、項 1 介護サービス等諸費、目 1 居宅介護サービス給付費では、財源内訳のみの補正となります。

次に、款 3 地域支援事業費、項 2 包括的支援・任意事業費、目 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費では、研修会講師の謝礼として 7 万円。

目 7 生活支援体制整備事業費では、今回目の新設となりますが、今後生活支援コーディネーターなど生活支援体制整備事業を行っていくため、事前研修会の講師謝礼を補正するものでございます。

7 ページ、8 ページをお開きください。款 4 基金積立金、項 1 基金積立金、目 1 基金積立金では、精算交付となりました平成 26 年度介護給付費負担金、支払基金交付金、合わせて 331 万 4,000 円を基金へ積み立てるための増額補正でございます。

次に、款 5 諸支出金、項 1 償還金及び還付加算金、目 2 国庫支出金等償還金では、平成 26 年度介護給付費負担金、地域支援事業の国庫補助金、道補助金と地域支援事業支払基金交付金について、額の確定に伴い超過負担金の返還金として 135 万 4,000 円を増額補正するものです。

続いて、歳入にお戻りいただきたいと思っております。3 ページ、4 ページをお開きください。款 3 国庫支出金、項 2 国庫補助金、目 3 地域支援包括的支援・任意事業交付金では、地域支援事業経費の増額に伴い 5 万 2,000 円の追加であります。

目 4 介護保険事業補助金では、介護保険法改正に伴うシステム改修費として 10 万 8,000 円を増額であります。

款 4 支払基金交付金、項 1 支払基金交付金、目 1 介護給付費交付金では、平成 26 年度精算交付として過年度分 97 万 8,000 円の追加となります。

款 5 道支出金、項 1 道負担金、目 1 介護給付費負担金では、平成 26 年度精算交付として過年度分 233 万 6,000 円の追加となります。

項 2 道補助金、目 2 地域包括的支援・任意事業交付金で、地域支援事業経費の増額に伴い 2 万 6,000 円を増額であります。

款 7 繰入金、項 1 一般会計繰入金、目 3 地域支援包括的支援・任意事業繰入金では、

地域支援事業経費増額に伴い2万6,000円の追加。

目4その他一般会計繰入金で、事務費繰入金として13万9,000円の増額でございます。

項2基金繰入金、目1基金繰入金では、平成26年度介護給付費国庫負担金と地域支援事業国庫補助金、道補助金と地域支援事業支払基金の額の確定に伴う超過負担金の返還額として介護給付費準備基金から繰り入れる138万4,000円を追加するものです。

それでは、本文に戻っていただきまして、ただいま説明した内容を第1表として款項ごとに整理させていただきましたので、原案にご承認いただきますようよろしくお願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 本案について質疑を許します。

1番、佐藤久哉君。

○1番（佐藤久哉君） 6ページの報償費、生活支援体制整備事業経費で講師謝礼とあるのですが、これの具体的な内容を、新規事業みたいなものなので具体的な内容をもう少し時期、内容について教えていただきたいと思います。

○議長（鹿中順一君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（石川 篤君） 生活支援体制整備ということで、生活支援コーディネーターなど、どういう形で設置したらいいかだとか、そういう部分につきまして、まだ具体的に講師は決めてございませんけれども、内部研修のため講師を呼んで勉強していきたいというふうに予算計上させていただいております。

○議長（鹿中順一君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 質疑を終結いたします。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 討論なしと認めます。

議案第77号を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

昼食休憩といたします。

昼食休憩 午後 0時 00分

再 開 午後 1時 00分

○議長（鹿中順一君） 昼食休憩を閉じ再開します。

◎認定第1号～認定第7号

○議長（鹿中順一君） 日程第22、認定第1号 平成26年度津別町一般会計決算の認定についてから、日程第28、認定第7号 平成26年度津別町上水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定についてまでの7件は、会議規則第37条の規定により一括議題といたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

したがって、日程第22、認定第1号 平成26年度津別町一般会計決算の認定についてから、日程第28、認定第7号 平成26年度津別町上水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定についてまでの7件を一括議題とします。

お諮りします。これら7件については、会議規則第39条第2項の規定に基づき、内容の説明は省略したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

したがって、認定第1号から認定第7号までの7件の内容の説明は省略することに決定いたしました。

監査委員の意見書は、別紙配付のとおりでありますのでご承知おきください。

お諮りします。決算審査をどのような方法で行うか意見を求めます。

2番、白馬康進君。

○2番（白馬康進君） ただいま上程となりました決算認定のための審査については、昨年同様に、議長及び議会選出の監査委員を除く全員をもって構成する決算審査特別委員会を設置し、これら7件を付託の上、次期定例会までの閉会中の継続審査とすることを希望し、動議といたします。

（「賛成」の声あり）

○議長（鹿中順一君） ただいま白馬康進君から、一般会計ほか6会計の決算認定については、議長及び議会選出の監査委員を除く議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これら7件を付託の上、次期定例会までの閉会中の継続審査とされたいとの動議が提出されました。

所定の賛成者がありますので、動議は成立いたしました。

したがって、ただいまの白馬康進君の動議を議題といたします。

本動議のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

したがって、認定第1号から認定第7号までの7件の決算認定については、議長及び議会選出の監査委員を除く議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これら7件を付託の上、次期定例会までの閉会中の継続審査とされたいとの動議は可決されました。

決算審査特別委員会の委員については、委員会条例第7条第4項の規定により、議長及び議会選出の監査委員を除く議員全員を指名いたしたいと思えます。

また、地方自治法第98条に基づく検閲検査ができるものとします。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

ただいま指名いたしました諸君を決算審査特別委員会の委員に決定いたしました。

暫時休憩いたします。

休憩 午後 1時04分

再開 午後 1時13分

○議長（鹿中順一君） 休憩を閉じ再開いたします。

休憩中に決算審査特別委員会が開催され、委員長及び副委員長の互選が行われ、その結果の報告が議長の手元にまいりましたので、事務局長より諸般の報告をさせます。

○事務局長（川口昌志君） 諸般の報告を申し上げます。休憩中に第1回決算審査特別委員会が開催され、委員長及び副委員長の選出が行われました。委員長には藤原英男議員、副委員長には篠原眞稚子議員が選出されましたので、ご報告申し上げます。

以上であります。

○議長（鹿中順一君） 以上で諸般の報告を終わります。

◎意見書案第10号

○議長（鹿中順一君） 日程第29、意見書案第10号 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書についてを議題といたします。

提出者の趣旨説明を求めます。

6番、藤原英男君。

○6番（藤原英男君）〔登壇〕 ただいま上程になりました意見書案第10号 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書案、提出者として提案理由を説明申し上げます。

林業・木材産業は、山村地域を支える基幹産業として発展し、雇用の確保、地域経済の活性化などに大きく寄与してきましたが、現在は大変厳しい状況にあり、木材産業の成長産業化を実現するための施策の充実・強化を図ることが必要であり、下記の3点を実現するよう強く要望しようとするものであります。

この意見書につきましては、林活議連また道議長会から同じような意見書の提出の要請があることを申し添えさせていただきます。

提出先につきましては、衆参両院議長、内閣総理大臣はじめ関係大臣でございます。

趣旨にご理解をいただきまして、ご賛同いただきますようお願いを申し上げ提案理由にかえさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

○議長（鹿中順一君） 本案について意見を求めます。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 意見書案第 10 号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎意見書案第 11 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 30、意見書案第 11 号 介護報酬の再改定を求める意見書についてを議題といたします。

提出者の趣旨説明を求めます。

5 番、茂呂竹裕子さん。

○5 番（茂呂竹裕子さん） 〔登壇〕 介護報酬の再改定を求める意見書案についてご提案申し上げますので、よろしくお願ひします。

平成 27 年 4 月より実施された介護報酬は、介護サービスの充実にプラス 0.56%、処遇改善にプラス 1.65%を除くとマイナス 4.48%の大幅なマイナス改定となりました。施設関係では、特別養護老人ホームが基本報酬で 5%を超える引き下げ幅となり、小規模デイサービスでは約 10%、予防通所介護・予防通所リハビリに至っては 20%を超すマイナス改定となっており、事業の継続が困難になるほどの下げ幅となっています。

厚生労働省は、今回の大幅切り下げの理由として「社会福祉法人の内部留保」を挙げていますが、ほとんどの介護事業者は、改訂前の介護報酬の中でさえ、内部留保どころか、介護労働者の賃金確保で精いっぱい状況です。都市部で利益を上げる一握りの事業者を例に挙げ、「介護はもうかっている」との判断は明確な誤りです。広大な過疎地を抱える北海道では利用者確保も難しく、事業者の撤退が相次ぎ、訪問看護など幾つかのサービスが利用できない自治体もあります。

処遇改善加算は介護職だけを対象にしていますが、介護現場には多様な職種が働いておりますので、職場全体のバランスのとれた「処遇改善」には加算ではなく、介護報酬自体の引き上げが必要です。

介護経営の事業所の維持と確保が困難な介護労働者の大幅な処遇改善、利用者負担によらない介護報酬の「大幅プラス改定」での見直しが不可欠となっています。

以上の趣旨から、次の事項について要望します。

1. 次年度予算において、介護事業所と介護労働者が充実したサービスを提供できるよう、介護報酬のマイナス改定を見直しすること。

以上、提出先は内閣総理大臣以下各関係大臣となっておりますので、皆様のご判断をよろしくお願いします。

○議長（鹿中順一君） 本案について意見を求めます。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 意見書案第 11 号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎報告第 8 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 31、報告第 8 号 平成 26 年度財政健全化判断比率の報告についてを議題とします。

町長から地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 3 条第 1 項及び第 22 条第 1 項の規定により報告書の提出がありましたので、本定例会に報告するものであります。

本件についてはご了承を願います。

◎報告第 9 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 32、報告第 9 号 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検評価の報告についてを議題とします。

津別町教育委員会委員長から、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定による報告書の提出がありましたので、本定例会に報告するものであります。

本件についてはご了承願います。

◎報告第 10 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 33、報告第 10 号 専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）を議題とします。

町長から、地方自治法第 180 条第 1 項の規定による専決処分について報告書の提出がありましたので、本定例会に報告するものであります。

本件についてはご了承願います。

◎報告第 11 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 34、報告第 11 号 例月出納検査の報告についてを議題とします。

監査委員から、平成 26 年度 5 月分、平成 27 年度 5 月分、6 月分、7 月分の例月出納検査について報告書が提出されましたので、本定例会に報告するものであります。

本件についてはご了承願います。

◎閉会の宣告

○議長（鹿中順一君） 以上で本定例会に付議されました事件はすべて終了しました。

これで平成 27 年第 7 回津別町議会定例会の会議を閉じ閉会します。

ご苦労さまでした。

（午後 1 時 22 分）

上記会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名する。

津別町議会議長

署名議員

署名議員